

科目名称:介護福祉論Ⅱ					
担当者名:伊藤 友香					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門基本	1年後期	講義	選択	2	社会福祉学科(2)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		13204222
授業概要:介護福祉論Ⅰの授業内容を踏まえ、介護福祉士の専門性と倫理について学習するとともに、専門職としての求められる姿勢・態度に理解について理解を深めます。また、生活の個別性に対応できるように、介護を必要とする人の生活の理解について学修します。					
到達目標:1. 介護福祉士の専門性と倫理について理解できる。 2. 専門職として求められる姿勢・態度について理解できる。 3. 生活の個別性について理解できる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 介護福祉士の倫理①:職業倫理、専門性			介護福祉士の専門性について下調べする(45分)		
第2回 介護福祉士の倫理②:利用者の人権と介護、チームケア、介護観			人権の保護について下調べをする(45分)		
第3回 介護福祉士の倫理③:プライバシーの保護			プライバシーの保護について下調べする(45分)		
第4回 介護福祉士の倫理④:介護福祉士に求められる姿勢・態度			介護福祉士として目指すべき姿勢についてまとめる(45分)		
第5回 生活の理解:ワーク			生活について祖父母等にインタビューを行ってくる(90分)		
第6回 介護を必要とする人の理解①:生活とは、人間の多様性の理解・複雑性の理解			自身の生活活動についてまとめる(90分)		
第7回 介護を必要とする人の理解②:高齢者の暮らしと介護の理解1			日本の暮らしの歴史についてまとめる(45分)		
第8回 介護を必要とする人の理解③:高齢者の暮らしと介護の理解2-認知症ケア-			認知症について下調べをする(45分)		
第9回 介護を必要とする人の理解④:高齢者の暮らしと介護の理解3-終末期ケア-			前回の授業を参考に高齢者の暮らしにおける介護の必要性についてまとめる(45分)		
第10回 介護を必要とする人の理解⑤:障がいをもった人たちの暮らしと介護1			障がいのある方の暮らしについて下調べをする(45分)		
第11回 介護を必要とする人の理解⑥:障がいをもった人たちの暮らしと介護2			前回の授業を参考に、障がいをもった方の暮らしについて、想起し意見をまとめてくる(45分)		
第12回 介護を必要とする人の理解⑦:障がいをもった人たちの暮らしと介護3			前回の授業を参考に障がいをもった方の暮らしにおける介護の必要性についてまとめる(45分)		
第13回 介護を必要とする人の理解⑧:「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解			ニーズについて下調べをする(45分)		
第14回 介護を必要とする人の理解⑨:生活障害の理解、生活環境・住環境の重要性			安全な生活環境について下調べをする(60分)		
第15回 まとめ			個別性を踏まえた支援について自身の考えをレポートにまとめる(120分)		
履修に必要な予備知識や技能:介護福祉論Ⅰを履修し、授業に臨んでください。					
課題に対してのフィードバック:課題やレポートについては、コメントを載せ返却します。また、全体への補足が必要な場合は、次回以降の授業で行います。					
評価方法・基準:定期試験 70% レポート 20% 受講態度 10%					
教科書:教科書:最新・介護福祉士養成講座「3介護の基本Ⅰ」「4介護の基本Ⅱ」中央法規出版、教科書の該当ページを開きながら解説する。 参考書:授業時に適宜紹介します。					
備考:					
実務経験の内容・期間:介護福祉士(6年)					